

6 おわりに

(1) 実現化に向けて

今後、本構想の実現化・具体化に向けては、実施計画等を策定し、進めていくものとし、特に次の事項に留意するものとします。

■ 着実かつ効率的で効果的な整備の推進

地域住民、JR西日本、バス・タクシー事業者等と連携・協働して取組むとともに、民間活力を活用することなどにより、より一層のコスト縮減に取り組んでいきます。また、適正な整備内容・水準・優先順位などを検討してきます。

本整備は、事業規模が大きく、莫大な総事業費を要することが予想されることから、早期実現を目指しつつも、中長期的に着実かつ計画的に取り組んでいきます。

(2) 今後のスケジュール（案）

今後のスケジュールは、概算事業費の算出等と併せて、実施計画において具体化するものとします。（以下のスケジュール案は参考案です。）

施策・事業	実施時期	
	短期（～5年）	長期（～10年）
自由通路の整備	■	
橋上駅舎の整備	■	
跨線橋のバリアフリー化	■	
東口広場の整備		■
既存駅舎空間の有効活用		■
西口広場の改良		■
周辺道路網の改善	■	■

- ・自由通路・橋上駅舎・跨線橋は一体的に機能するものであることから同時期の施工となる。
- ・東口広場の整備は、自由通路の整備のための仮設ヤードとなることから、自由通路の整備完了後となる。
- ・既存駅舎空間の有効活用の整備は、橋上駅舎の整備が完了し、駅機能を移設した後となる。
- ・西口広場の改良は、既存駅舎空間の有効活用と一体的に機能することから同時期の施工となる。
- ・周辺道路網の改善（西口広場と接続するものを除く）は、路線の優先順位等を検討し、単独で、適宜実施していく。
- ・これらの整備は、年度事業費のバランスを見て、調整する。